

パラグアイ主要経済指標(6月)

I 為替相場

(1) 対ドル(Gs/US\$)

6月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,659Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

(2) 対ユーロ(Gs/EURO)

6月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は7,011Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

II 消費者物価指数

(1) 消費者物価指数(総合)

6月の消費者物価指数(総合)は0.7%となり、年間累計値は1.9%となった。

(2) コア・インフレ

6月のコア・インフレ率は0.8%となり、年間累計値は2.3%となった。

III 貿易

輸出総額(6月)は、対前年比13.6%となった。(大豆種子17.3%、大豆油8.9%増、大豆粉55.8%、穀物類0.8%、牛肉14.5%増、自動車部品(ハーネス)29.4%増、電力3.5%増、その他2.5%増となった。)

IV 外貨準備高

6月末の外貨準備高は、約8,440百万米ドルであった。

V 対外累積債務

5月末の対外累積債務は、約5,615百万米ドルであった。

VI 最低賃金、失業率

最低賃金: 月給2,112,562グアラニ (日給81,252グアラニ) (2018年7月~)
失業率: 6.0%(2016年)

VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率

2017年の経済成長率(暫定値)は4.3%、2016年の経済成長率は4.0%であった。

VIII 6月のトピックス

- 1 ロペス次期財務大臣のインフラ開発に関する発言
- 2 IPV6への移行にかかる関連会社への説明会
- 3 中銀総裁、日本大使館で講演
- 4 メルコスール首脳会合がアスンシオンで開催
- 5 ムーディーズ格付をBa1に維持
- 6 最低賃金の改定

2018/7/27

I 為替相場(パラグアイ中央銀行発表)

1 為替レート概要(月平均値, 売値)

(1) 対ドル(Gs/US\$)

6月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,659Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

(2) 対ユーロ(Gs/EURO)

6月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は7,011Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

(3) 対リアル(Gs/REAL)

6月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,486Gsとなった。

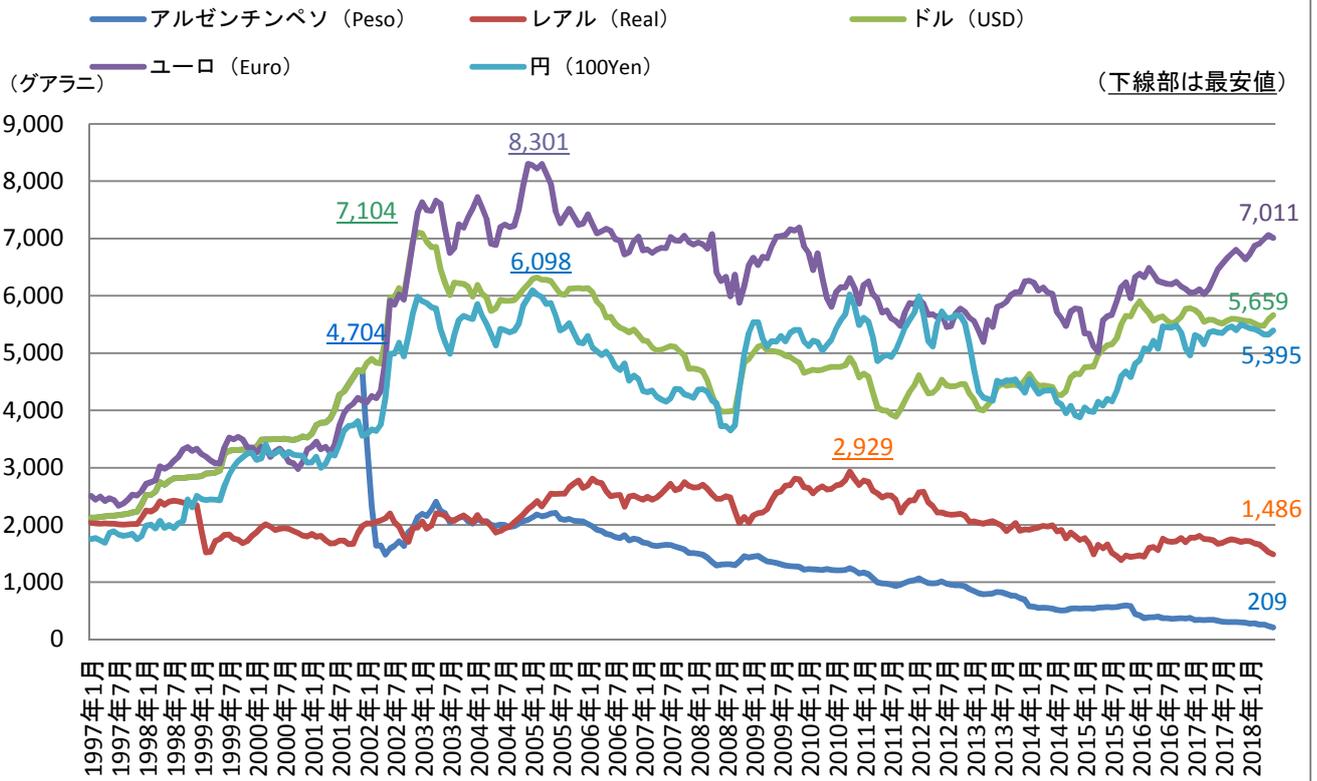
(4) 対アルゼンチンペソ(Gs/PESO)

6月の対アルゼンチンペソ為替レート(Gs/PESO)は209Gsとなった。

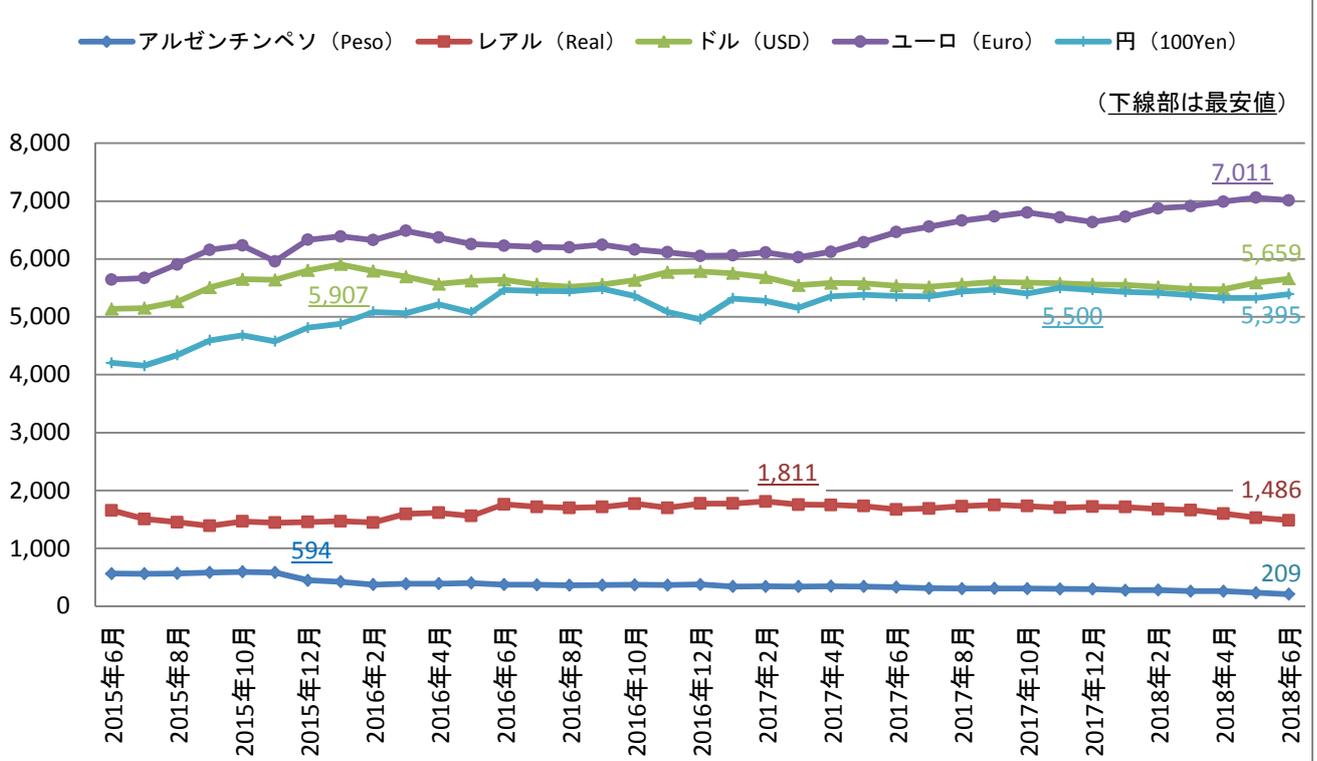
(2015年~2018年)

年/月	ドル(USD)	ユーロ(Euro)	リアル(Real)	亜ペソ(Peso)	円(100Yen)
2015年 6月	5,137	5,645	1,657	565	4,204
2015年 7月	5,152	5,668	1,507	561	4,156
2015年 8月	5,262	5,903	1,453	567	4,341
2015年 9月	5,507	6,157	1,388	585	4,595
2015年 10月	5,651	6,233	1,466	594	4,679
2015年 11月	5,639	5,959	1,443	582	4,578
2015年 12月	5,802	6,332	1,455	447	4,813
2016年 1月	5,907	6,388	1,468	425	4,878
2016年 2月	5,792	6,325	1,448	375	5,084
2016年 3月	5,695	6,485	1,596	389	5,061
2016年 4月	5,568	6,374	1,614	390	5,216
2016年 5月	5,619	6,256	1,560	400	5,076
2016年 6月	5,639	6,230	1,761	375	5,464
2016年 7月	5,560	6,210	1,717	371	5,450
2016年 8月	5,517	6,200	1,701	362	5,445
2016年 9月	5,558	6,246	1,714	365	5,485
2016年 10月	5,633	6,163	1,772	371	5,361
2016年 11月	5,773	6,116	1,699	364	5,083
2016年 12月	5,786	6,054	1,775	376	4,957
2017年 1月	5,751	6,061	1,774	340	5,317
2017年 2月	5,682	6,113	1,811	344	5,278
2017年 3月	5,546	6,027	1,756	340	5,153
2017年 4月	5,585	6,125	1,749	347	5,356
2017年 5月	5,578	6,290	1,730	342	5,380
2017年 6月	5,537	6,463	1,672	329	5,358
2017年 7月	5,517	6,558	1,689	312	5,351
2017年 8月	5,566	6,661	1,728	306	5,434
2017年 9月	5,602	6,735	1,750	306	5,469
2017年 10月	5,592	6,804	1,730	304	5,402
2017年 11月	5,578	6,720	1,702	300	5,500
2017年 12月	5,559	6,637	1,721	296	5,467
2018年 1月	5,553	6,730	1,715	278	5,433
2018年 2月	5,516	6,875	1,677	281	5,414
2018年 3月	5,480	6,911	1,661	261	5,375
2018年 4月	5,475	6,990	1,601	261	5,325
2018年 5月	5,591	7,060	1,528	232	5,323
2018年 6月	5,659	7,011	1,486	209	5,395

対グアラニ為替相場(月平均値)



対グアラニ為替相場(月平均値:直近3年間)



II 消費者物価指数(パラグアイ中央銀行発表)

1 消費者物価指数概要

(1) 消費者物価指数(総合)

6月の消費者物価数(総合)は0.7%となり、年間累計値は1.9%となった。

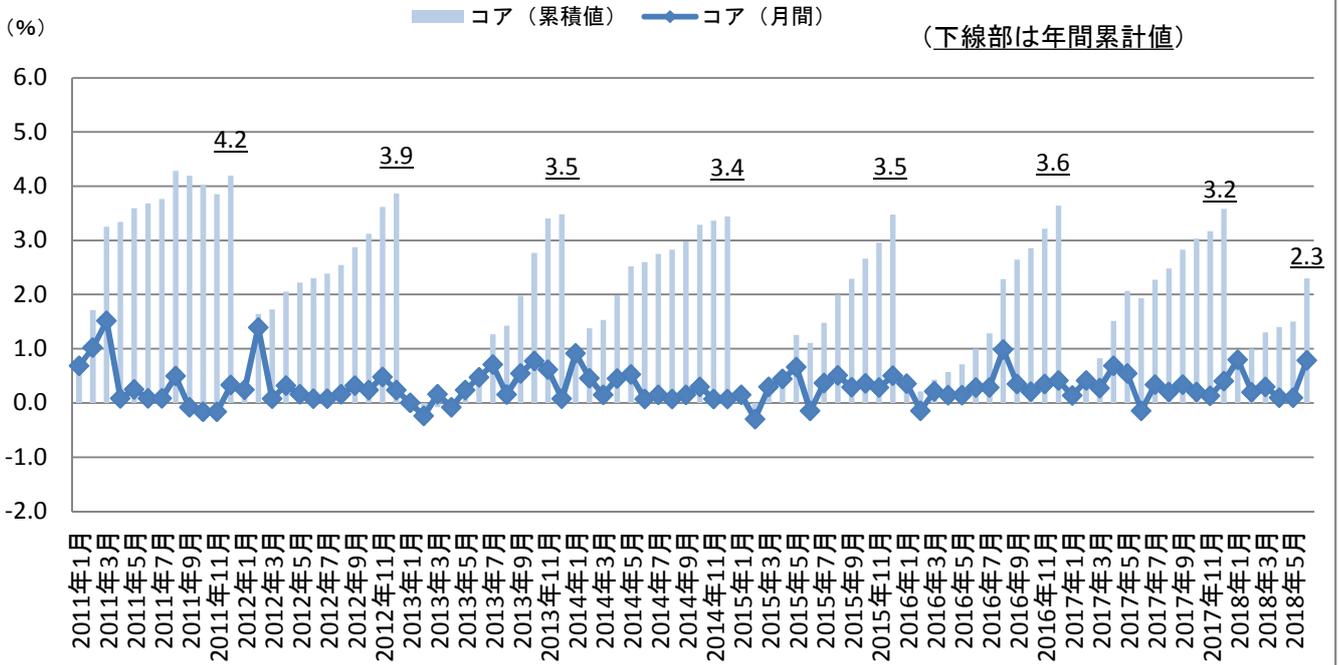
(2) コア・インフレ

6月のコア・インフレ率は0.8%となり、年間累計値は2.3%となった。

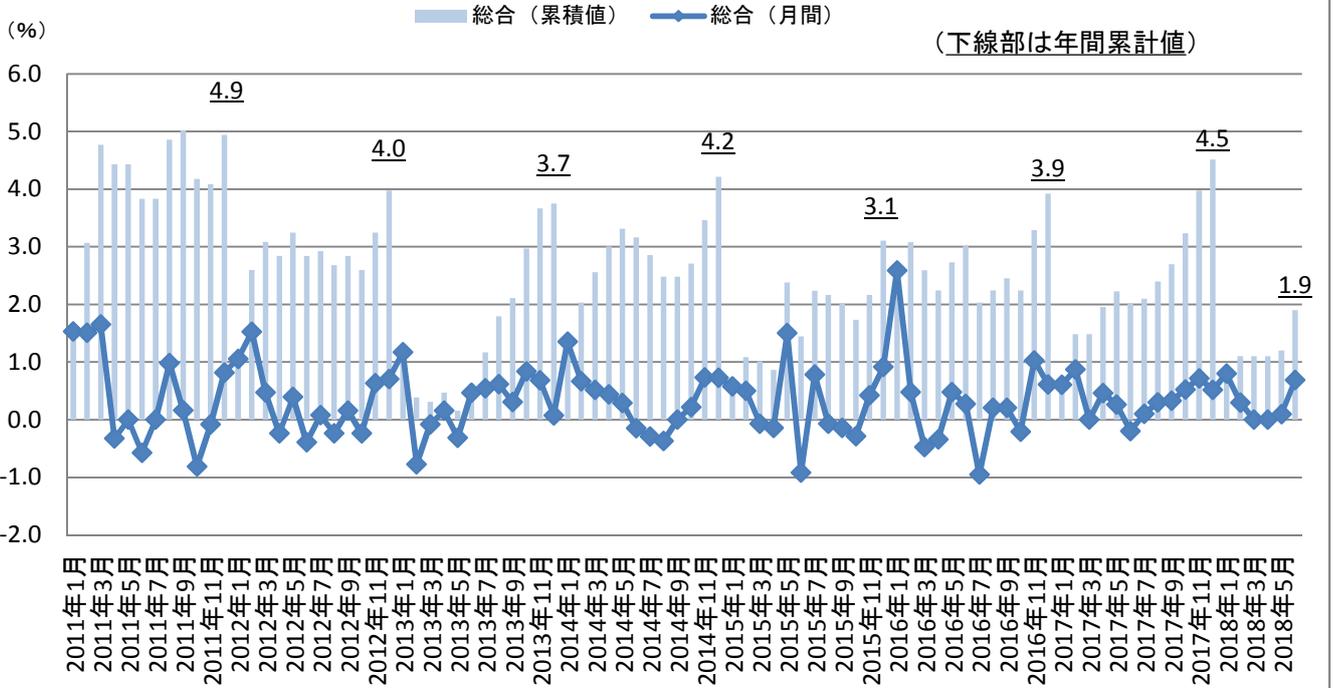
2 消費者物価指数一覧表 (2015年~2018年)

年/月	消費者物価指数(総合)(%)		コア・インフレ(%)	
	月間	累積	月間	累積
2015年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2015年 2月	0.5	1.1	-0.3	-0.1
2015年 3月	-0.1	1.0	0.3	0.1
2015年 4月	-0.1	0.9	0.4	0.6
2015年 5月	1.5	2.4	0.7	1.3
2015年 6月	-0.9	1.4	-0.1	1.1
2015年 7月	0.8	2.2	0.4	1.5
2015年 8月	-0.1	2.2	0.5	2.0
2015年 9月	-0.1	2.0	0.3	2.3
2015年 10月	-0.3	1.7	0.4	2.7
2015年 11月	0.4	2.2	0.3	3.0
2015年 12月	0.9	3.1	0.5	3.5
2016年 1月	2.6	2.6	0.4	0.4
2016年 2月	0.5	3.1	-0.1	0.2
2016年 3月	-0.5	2.6	0.2	0.4
2016年 4月	-0.3	2.2	0.1	0.6
2016年 5月	0.5	2.7	0.1	0.7
2016年 6月	0.3	3.0	0.3	1.0
2016年 7月	-1.0	2.0	0.3	1.3
2016年 8月	0.2	2.2	1.0	2.3
2016年 9月	0.2	2.5	0.3	2.6
2016年 10月	-0.2	2.2	0.2	2.9
2016年 11月	1.0	3.3	0.3	3.2
2016年 12月	0.6	3.9	0.4	3.6
2017年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2017年 2月	0.9	1.5	0.4	0.6
2017年 3月	0.0	1.5	0.3	0.8
2017年 4月	0.5	2.0	0.7	1.5
2017年 5月	0.3	2.2	0.5	2.1
2017年 6月	-0.2	2.0	-0.1	1.9
2017年 7月	0.1	2.1	0.3	2.3
2017年 8月	0.3	2.4	0.2	2.5
2017年 9月	0.3	2.7	0.3	2.8
2017年 10月	0.5	3.2	0.2	3.0
2017年 11月	0.7	4.0	0.1	3.2
2017年 12月	0.5	4.5	0.4	3.6
2018年 1月	0.8	0.8	0.8	0.8
2018年 2月	0.3	1.1	0.2	1.0
2018年 3月	0.0	1.1	0.3	1.3
2018年 4月	0.0	1.1	0.1	1.4
2018年 5月	0.1	1.2	0.1	1.5
2018年 6月	0.7	1.9	0.8	2.3

コア・インフレ率(前月比・累計値)



インフレ率(前月比・累計値)



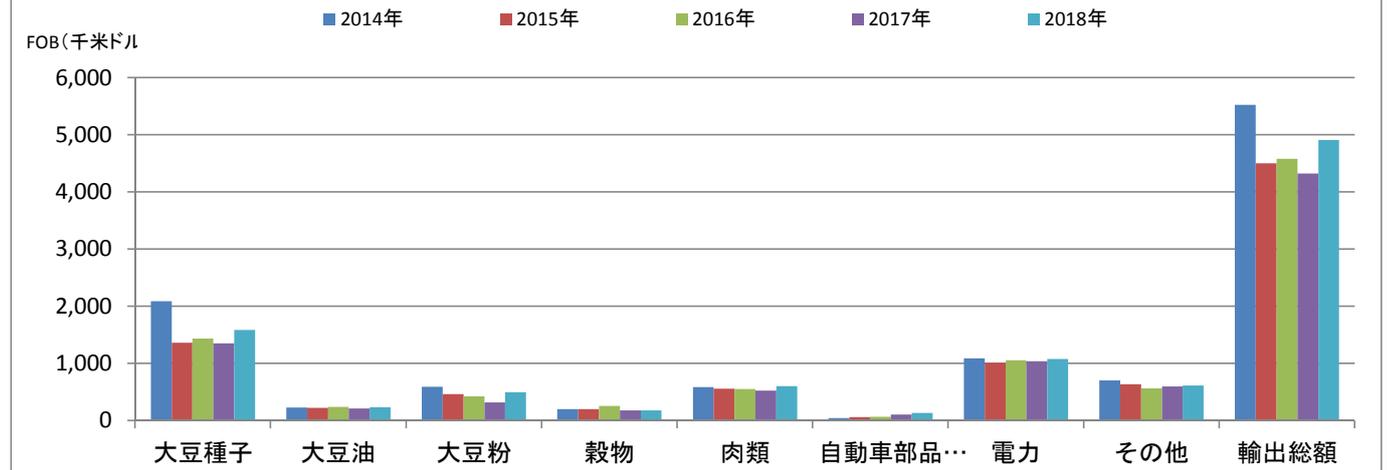
Ⅲ 貿易(パラグアイ中央銀行発表)

1 主要輸出品目別輸出総額(1月～6月)

単位(千米ドル)

年/月	大豆種子	大豆油	大豆粉	穀物	肉類	自動車部品 (ハーネス)	電力	その他	輸出総額
2014年 1月～6月	2,090,100	228,386	587,836	197,124	586,999	41,356	1,086,624	703,406	5,521,830
2015年 1月～6月	1,359,721	222,632	458,846	196,910	558,151	59,096	1,008,126	636,059	4,499,540
2016年 1月～6月	1,434,900	236,996	421,659	252,574	549,883	66,551	1,053,675	563,260	4,579,495
2017年 1月～6月	1,352,444	211,181	317,354	177,158	525,274	103,717	1,038,922	595,110	4,321,161
2018年 1月～6月	1,585,884	229,940	494,299	178,648	601,668	134,180	1,074,951	609,728	4,909,298
前年比度(2017/2018)	17.3%	8.9%	55.8%	0.8%	14.5%	29.4%	3.5%	2.5%	13.6%

主要輸出品目別輸出総額(2018年1月～6月)

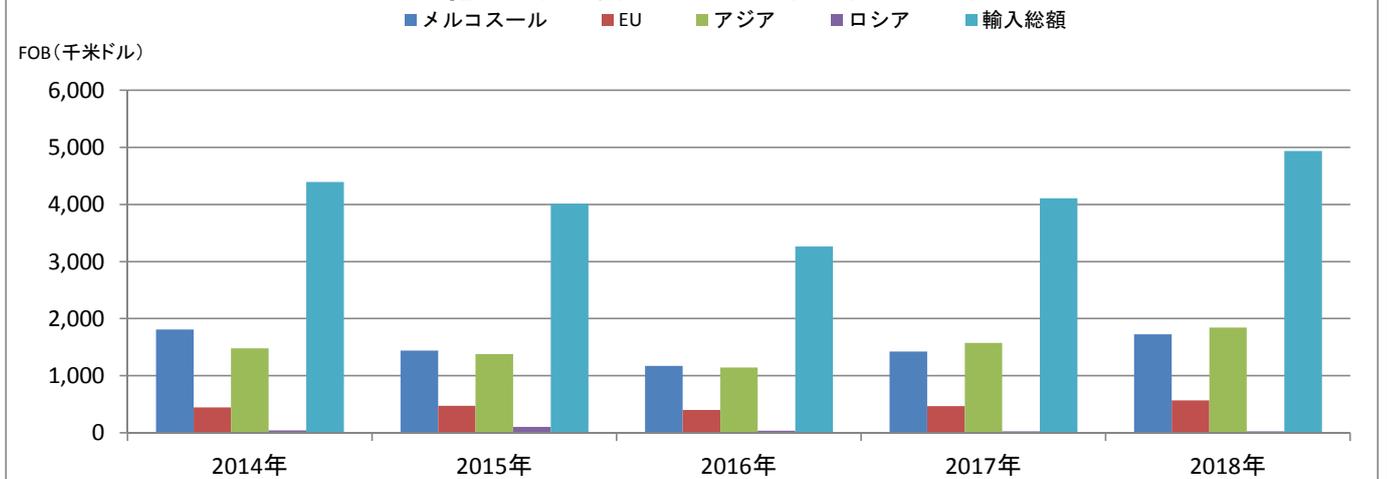


2 輸入総額(1月～6月)

単位(千米ドル)

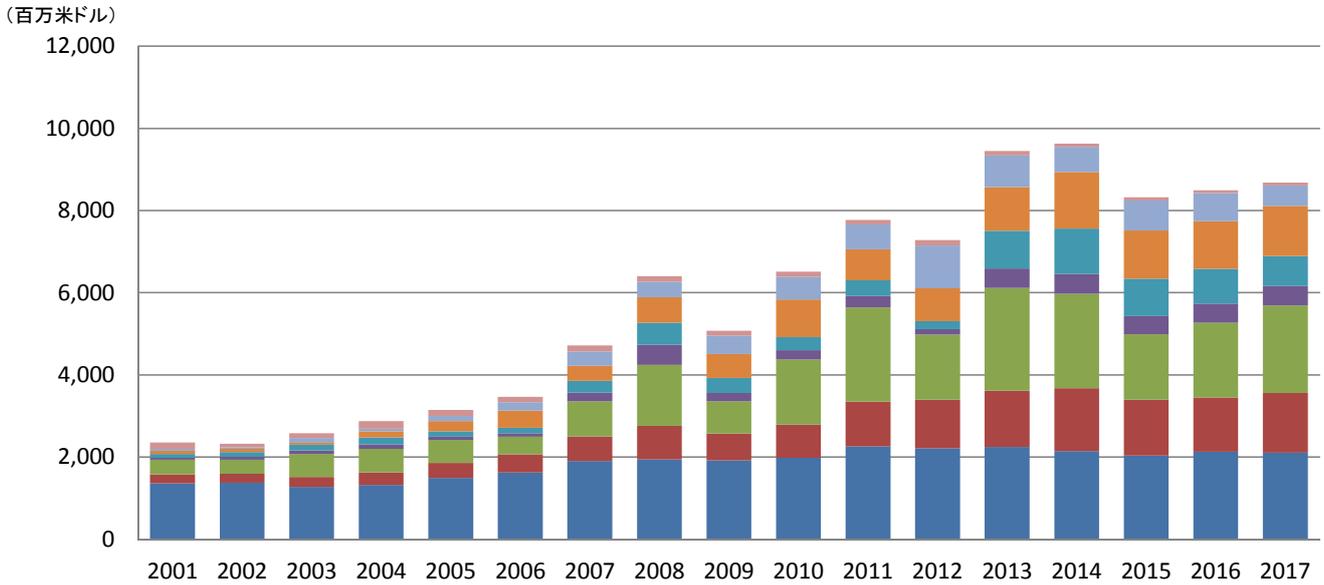
年/月	メルコスール	EU	アジア	ロシア	その他	輸入総額
2014年 1月～6月	1,813,803	449,524	1,480,742	46,826	606,685	4,397,580
2015年 1月～6月	1,440,354	474,052	1,381,554	105,542	614,075	4,015,577
2016年 1月～6月	1,174,677	400,403	1,143,822	39,877	507,870	3,266,649
2017年 1月～6月	1,425,775	470,546	1,575,152	29,092	609,236	4,109,801
2018年 1月～6月	1,726,682	570,960	1,846,286	27,064	766,064	4,937,056
前年比度(2017/2018)	21.1%	21.3%	17.2%	-7.0%	25.7%	20.1%

域別輸入総額(2018年1月～6月)



主要輸出品目別

■ 電力 ■ その他（工業産品含） ■ 大豆種子 ■ 大豆油 ■ 大豆粉 ■ 肉類 ■ 穀物類 ■ その他農産品

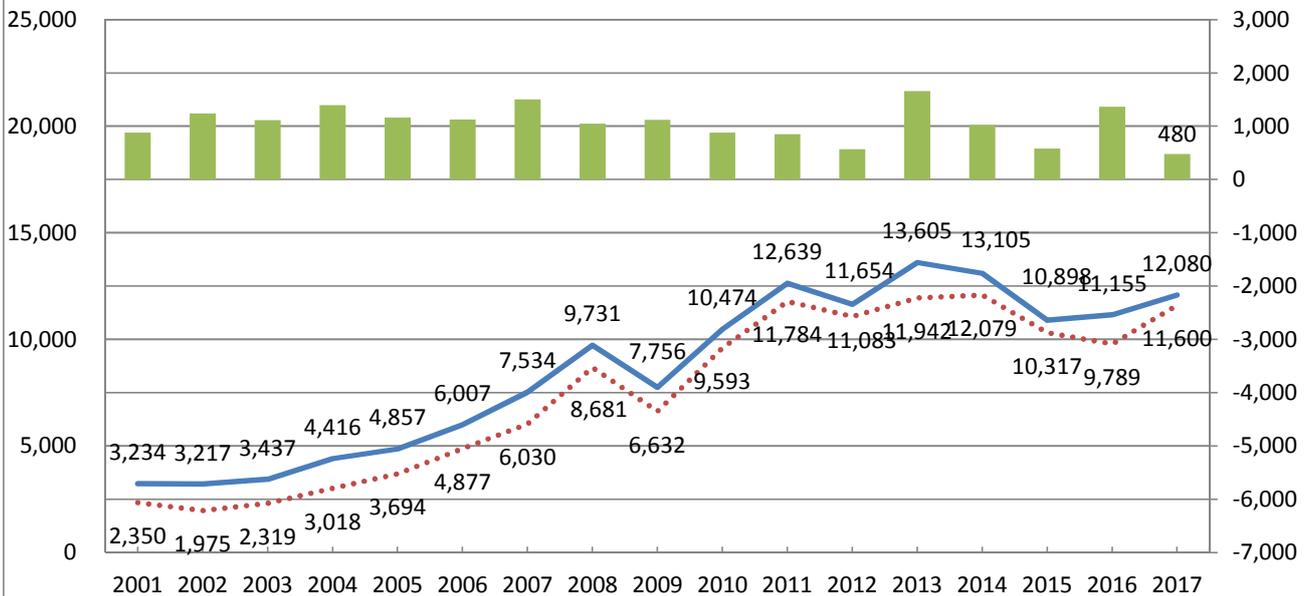


貿易(輸出入総額・貿易収支)

輸出入
(百万米ドル)

■ 貿易収支 ■ 輸出 ●●● 輸入

貿易収支
(百万米ドル)



IV 外貨準備高(パラグアイ中央銀行発表)

1 外貨準備高概要

6月末の外貨準備高は、約8,440百万米ドルであった。

2 外貨準備高一覧(年末値, 月末値)

(2014年~2018年)

(百万米ドル)

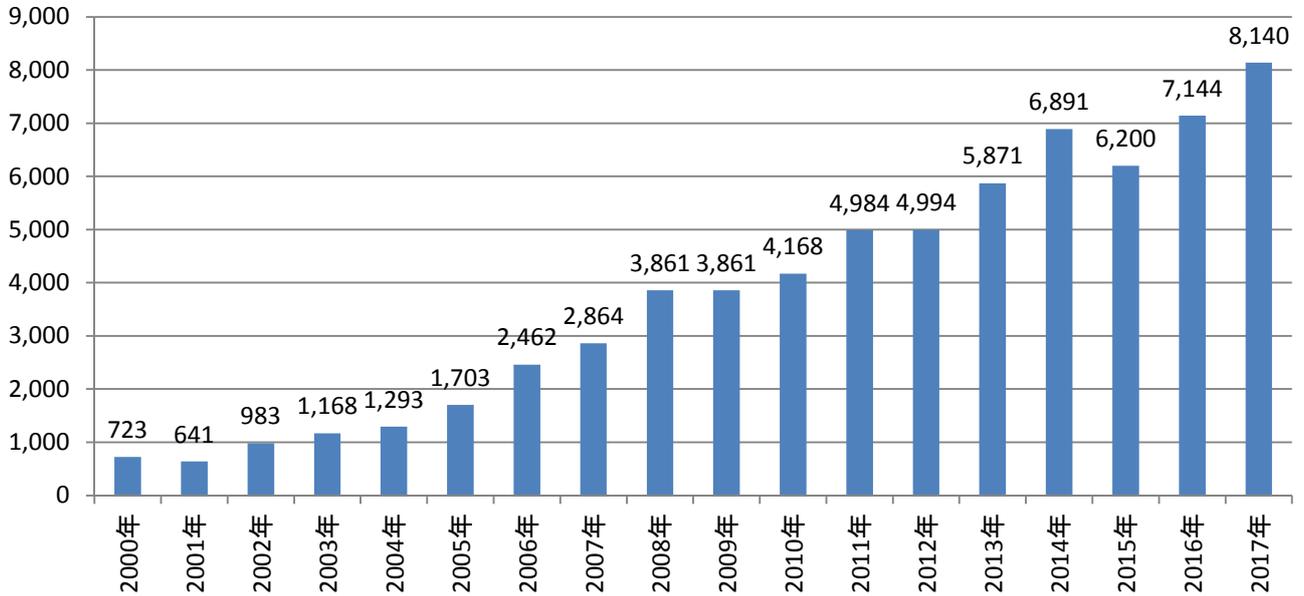
年	年末値
2000年 12月	723
2001年 12月	641
2002年 12月	983
2003年 12月	1,168
2004年 12月	1,293
2005年 12月	1,703
2006年 12月	2,462
2007年 12月	2,864
2008年 12月	3,861
2009年 12月	3,861
2010年 12月	4,168
2011年 12月	4,984
2012年 12月	4,994
2013年 12月	5,871
2014年 12月	6,891
2015年 12月	6,200
2016年 12月	7,144
2017年 12月	8,140

(百万米ドル)

年	月末値
2014年 1月	5,720
2014年 2月	5,768
2014年 3月	6,022
2014年 4月	6,202
2014年 5月	6,333
2014年 6月	6,377
2014年 7月	6,275
2014年 8月	7,247
2014年 9月	7,130
2014年 10月	7,001
2014年 11月	7,050
2014年 12月	6,891
2015年 1月	6,806
2015年 2月	6,721
2015年 3月	6,672
2015年 4月	7,066
2015年 5月	7,077
2015年 6月	7,100
2015年 7月	6,902
2015年 8月	6,771
2015年 9月	6,508
2015年 10月	6,336
2015年 11月	6,247
2015年 12月	6,200
2016年 1月	6,001
2016年 2月	5,858
2016年 3月	6,633
2016年 4月	6,829
2016年 5月	6,867
2016年 6月	6,882
2016年 7月	6,851
2016年 8月	6,902
2016年 9月	7,000
2016年 10月	6,924
2016年 11月	6,896
2016年 12月	7,144
2017年 1月	7,083
2017年 2月	7,173
2017年 3月	7,803
2017年 4月	7,811
2017年 5月	7,909
2017年 6月	8,007
2017年 7月	8,016
2017年 8月	8,067
2017年 9月	8,100
2017年 10月	7,971
2017年 11月	8,020
2017年 12月	8,140
2018年 1月	8,156
2018年 2月	8,183
2018年 3月	8,771
2018年 4月	8,841
2018年 5月	8,626
2018年 6月	8,440

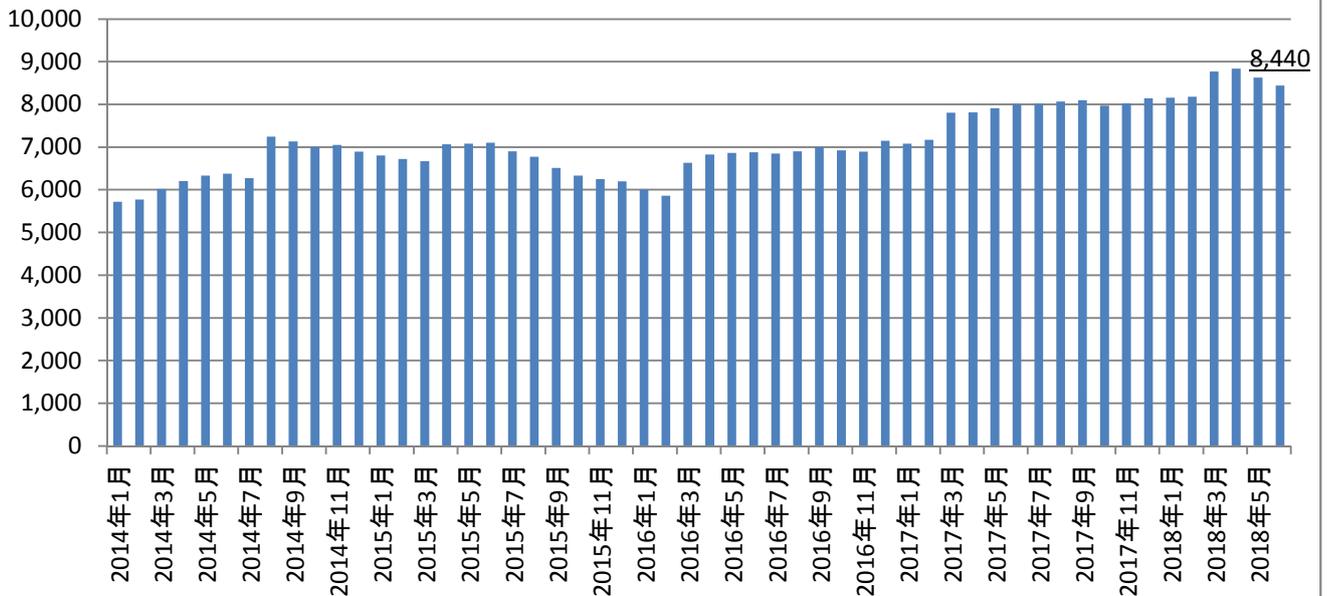
外貨準備高：年末値

(百万米ドル)



外貨準備高：月末値(2014年～2018年)

(百万米ドル)



V 対外累積債務(パラグアイ中央銀行発表)

1 対外累積債務概要

5月末の対外累積債務は、約5,615百万米ドルであった。

2 対外累積債務一覧(年末値, 月末値) (千米ドル)

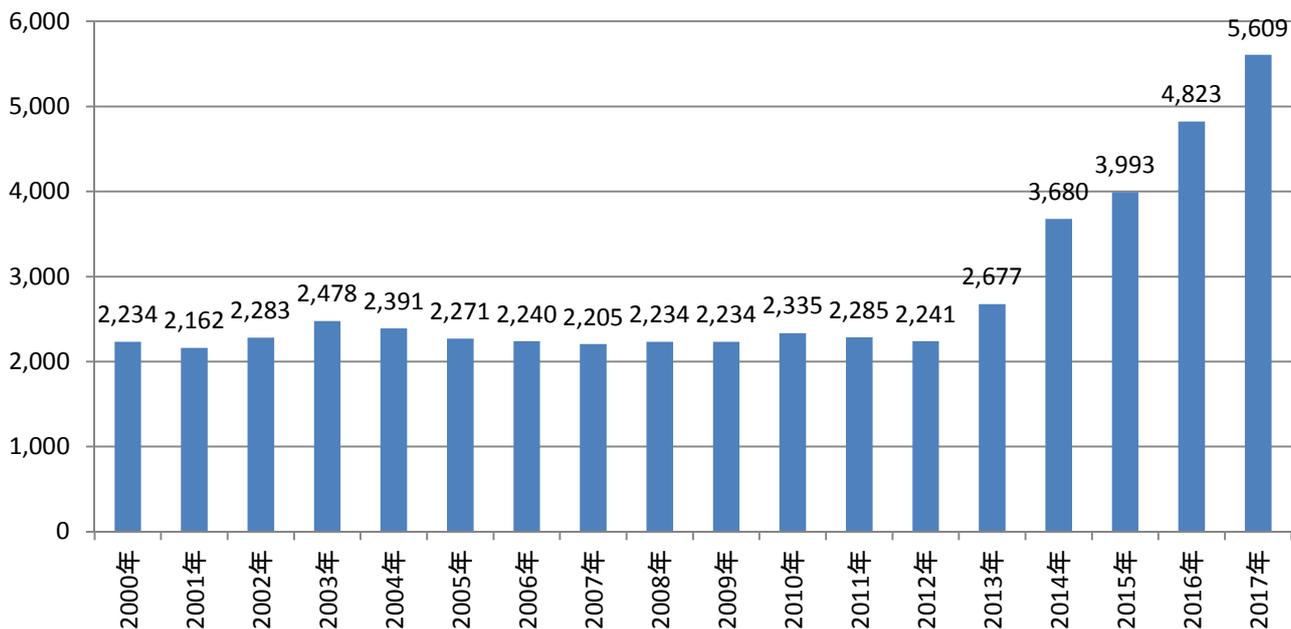
年	年末値
2000年 12月	2,234,322
2001年 12月	2,162,407
2002年 12月	2,283,051
2003年 12月	2,477,573
2004年 12月	2,390,687
2005年 12月	2,271,139
2006年 12月	2,240,448
2007年 12月	2,205,330
2008年 12月	2,234,198
2009年 12月	2,234,233
2010年 12月	2,335,425
2011年 12月	2,284,723
2012年 12月	2,241,060
2013年 12月	2,677,032
2014年 12月	3,679,598
2015年 12月	3,993,084
2016年 12月	4,822,606
2017年 12月	5,608,640

(2014年~2018年) (千米ドル)

年	月末値
2014年 1月	2,664,342
2014年 2月	2,656,189
2014年 3月	2,681,312
2014年 4月	2,690,146
2014年 5月	2,683,411
2014年 6月	2,677,604
2014年 7月	2,660,660
2014年 8月	3,648,831
2014年 9月	3,629,087
2014年 10月	3,628,449
2014年 11月	3,604,216
2014年 12月	3,679,598
2015年 1月	3,679,212
2015年 2月	3,670,452
2015年 3月	3,665,989
2015年 4月	3,931,070
2015年 5月	3,932,823
2015年 6月	3,934,322
2015年 7月	3,913,548
2015年 8月	3,918,582
2015年 9月	3,923,794
2015年 10月	3,907,839
2015年 11月	3,901,630
2015年 12月	3,993,084
2016年 1月	3,979,611
2016年 2月	3,976,494
2016年 3月	4,571,208
2016年 4月	4,632,521
2016年 5月	4,645,744
2016年 6月	4,661,321
2016年 7月	4,664,740
2016年 8月	4,652,052
2016年 9月	4,656,467
2016年 10月	4,656,042
2016年 11月	4,671,876
2016年 12月	4,822,606
2017年 1月	4,829,851
2017年 2月	4,833,956
2017年 3月	5,351,630
2017年 4月	5,344,427
2017年 5月	5,472,838
2017年 6月	5,533,131
2017年 7月	5,540,885
2017年 8月	5,579,692
2017年 9月	5,579,692
2017年 10月	5,535,177
2017年 11月	5,578,579
2017年 12月	5,608,640
2018年 1月	5,600,961
2018年 2月	5,612,175
2018年 3月	5,616,269
2018年 4月	5,625,352
2018年 5月	5,614,580

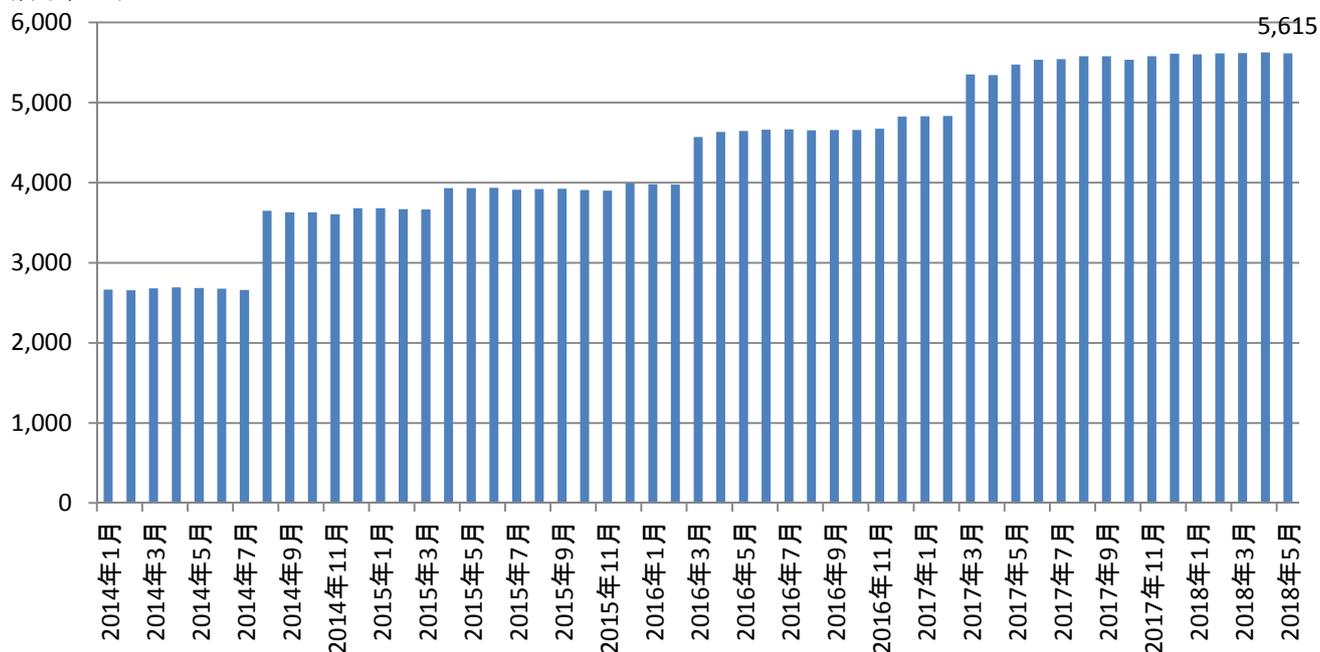
対外累積債務：年末値

(百万米ドル)



対外累積債務：月末値(2014年～2018年)

(百万米ドル)



VI 最低賃金・失業率

1 最低賃金の推移

2016年11月までは、直近の最低賃金改定月以降の消費者物価指数を累計し、右累積値が10%を超えるごとに、最低賃金を改定していたが、法律第5764号(2016年11月発布)が施行されたことにより、最低賃金は、消費者物価指数に応じ、毎年6月に改定される。2018年6月改定(大統領令9088号(2018年))により、2018年7月1日からの最低賃金は、前年から3.5%引き上げられ、月給2,112,562グアラニ(日給81,252グアラニ)となった。

(1)最低賃金の改定歴

期間	最低賃金(グアラニ)	前回からの増加率
2005/1/1 ~ 2005/3/31	972,413	
2005/4/1 ~ 2006/3/31	1,089,103	
2006/4/1 ~ 2007/9/30	1,219,795	
2007/10/1 ~ 2009/4/30	1,341,775	
2009/5/1 ~ 2010/6/30	1,408,864	
2010/7/1 ~ 2011/3/31	1,507,484	7%
2011/4/1 ~ 2014/2/28	1,658,232	10%
2014/3/1 ~ 2016/11/30	1,824,055	10%
2016/12/1 ~ 2017/6/30	1,964,507	7.7%
2017/7/1 ~ 2018/6/30	2,041,123	3.9%
2018/7/1 ~	2,112,562	3.5%

2 失業率

失業率(年末値)推移:全国

期間	失業率(%)
2010年	6.0
2011年	6.0
2012年	7.9
2013年	8.1
2014年	6.5
2015年	5.3
2016年	6.0
2017年	

出典:DGEEC: ENCUESTA PERMANENTE DE HOGARES

失業率(四半期)推移:アスンシオン市及び大都市圏

期間	失業率(%)
2014年第1四半期	9.1
2014年第2四半期	7.7
2014年第3四半期	7.7
2014年第4四半期	6.5
2015年第1四半期	7.6
2015年第2四半期	6.7
2015年第3四半期	6.0
2015年第4四半期	5.5
2016年第1四半期	7.6
2016年第2四半期	8.9
2016年第3四半期	6.9
2016年第4四半期	7.4
2017年第1四半期	8.4
2017年第2四半期	8.9
2017年第3四半期	7.6
2017年第4四半期	

出典:DGEEC, ENCUESTA CONTINUA DE EMPLEO

VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率(パラグアイ中央銀行発表)

2017年の経済成長率(暫定値)は4.3%, 2016年の経済成長率は4.0%であった。

1 実質GDP(基準:1994年)・名目GDP

単位:千米ドル

年	名目GDP	実質GDP (基準:1994年)
2000	8,207,164	8,588,449
2001	7,662,152	8,516,817
2002	6,326,170	8,514,994
2003	6,588,266	8,882,905
2004	8,060,401	9,243,322
2005	8,772,074	9,440,527
2006	10,662,013	9,894,345
2007	13,837,526	10,430,779
2008	18,504,761	11,094,084
2009	15,954,961	10,654,127
2010	20,028,376	12,049,072
2011	25,149,416	12,572,292
2012	24,690,711	12,416,525
2013	28,914,736	14,159,343
2014	30,657,222	14,827,994
2015	27,373,818	15,267,234
2016	27,645,140	15,880,909
2017※	29,734,895	16,560,309

※暫定値

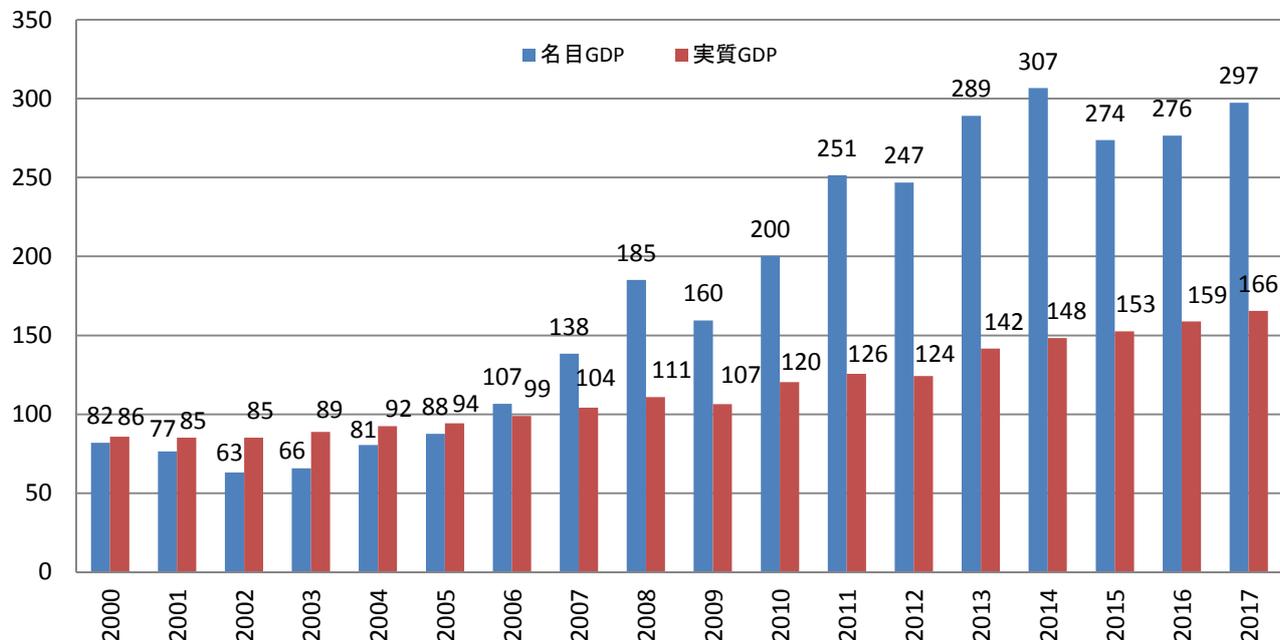
単位:%

年	経済成長率
2000	-2.3
2001	-0.8
2002	0.0
2003	4.3
2004	4.1
2005	2.1
2006	4.8
2007	5.4
2008	6.4
2009	-4.0
2010	13.1
2011	4.3
2012	-1.2
2013	14.0
2014	4.7
2015	3.0
2016	4.0
2017※	4.3

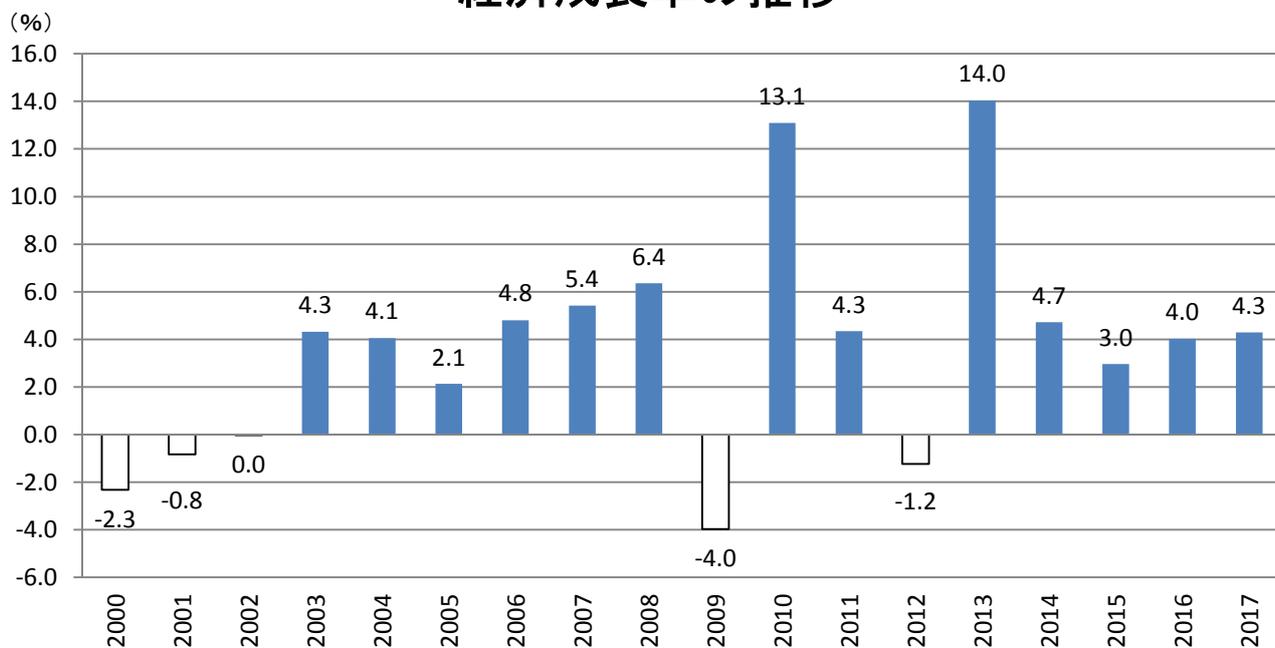
※暫定値

(億米ドル)

名目GDPと実質GDPの推移



経済成長率の推移



VIII 6月 の経済トピックス

1 ロペス次期財務大臣のインフラ開発に関する発言

2日、ロペス次期財務大臣は、ラジオ出演し、近年パラグアイはインフラ整備が顕著に進んでいるが、地域によって格差があることから、次期政権下では経済政策としてインフラ投資政策を継続する旨明らかにした。同次期財相は、現在、インフラ整備はインフレ抑制等の健全な財政政策によってよい段階にあると言えるが、まだ不十分さは残っており、これから多くの要望に応じていく必要がある旨述べた。

また、同次期財相は保健、教育、税制改革のための必要性をカバーしうる人材に投資すべきである旨述べるとともに、マクロ経済の安定及び健全な財政運営を通じ、パラグアイ中央銀行と良好な調整関係を継続する旨明言した。なお、同次期財相は、IPS総裁を務める以前に、BCPの経営に関わるとともに、イタイプ二国間財団の法律顧問を務めた経歴をもつ。

2 IPV6への移行にかかる関連会社への説明会

10日、イベント「LANIC on the Move」が電気通信公社(Copaco)、国家情報科学センター(CNC)等の関連団体の協力のもと開催された。LANICとは、ラテンアメリカ・カリブ海沿岸地域を管轄する地域インターネットレジストリ(RIR)を指す。同イベントにおいて、インターネットが発展していくためには、IPV6(インターネット・プロトコル・バージョン6)の適用が必要との主張がなされた。ロハスLANIC専門家は、IPV4のIPアドレスは枯渇しつつあるため、LANICはインターネット関連企業(プロバイダ)に対して、IPV6のシステムを投入するよう要請している旨述べた。

同専門家は「IPV6は既にLANICにより承認されているが、問題はそれに適応するシステムにある。関連企業のなかには、IPV6に適応するウェブへの変更が実施できていない企業もある。

ベラスケスCNC局長は、イベント開催中、関連企業に対して、IPV6に適応するシステムが導入できるよう技術研修を実施した旨述べた。同局長は「世界的な流れであるIPV6が(パラグアイに)上陸した際に、IPV4からIPV6への移行できるようにすることが狙いである。IPV6導入は、5年以内を実現するであろう」と述べた。また、同局長は、プロトコルの変更は、インターネットを利用する際の安全性を損なうことなく実施されるべきである旨付言した。

3 中銀総裁、日本大使館で講演

18日、日本大使館において在パラグアイ日本商工会議所と共催にて、フェルナンデス中央銀行総裁による講演「パラグアイの金融政策について」が開催された。

フェルナンデス総裁は、「パラグアイにとって、マクロ経済指標にもとづく経済基盤を築くことが重要であることから、外国投資を誘致し経済成長するための政策を推進してきた。近隣国である伯及び亜の景気低迷によりその影響を受けたものの、パラグアイは国内総生産(GDP)成長率が4%以上と南米で最も高い成長率を記録しており、今後もそのような成長基調を継続すべく政策を実行していく必要がある。」と、近年のパラグアイの堅実な経済成長につき述べた。また、同総裁は、マクロ経済政策が尊重されるべきであるという点を強調するとともに、産業構造については、持続的な経済成長を可能にする産業へのシフトを加速していく必要性につき旨述べた。

統計上の基準年の変更について、同総裁は2018年のGDP成長率(予測値)は南米で最も高くなると同時に、各経済指標の対GDP比が改善した旨述べた。

加えて、同総裁は、通貨「グアラニー」の価値を高めていく必要性につき述べた。

4 メルコスール首脳会合がアスンシオンで開催

18日、第52回メルコスール首脳会合がアスンシオン近郊(ルケ市)で開催され、カルテス大統領、バスケス・ウルグアイ大統領、テメル・ブラジル大統領、ミケティ・アルゼンチン副大統領、ガルシア・リネラ・ボリビア副大統領、共同市場理事会に出席した加盟国外相及び準加盟国代表者等が出席した。

メルコスール加盟国及び準加盟国の首脳は、首脳会合において、社会包摂を含んだ経済発展に貢献するため、地域統合を深化させる約束を再確認した。参加各国は、会合において、交渉が長引いているEUとのFTA交渉を早期に妥結する旨述べた。

17日、ニン・ノボア・ウルグアイ外相は首脳会談に先立って行われた共同市場理事会(CMC)において、ウルグアイ議長国就任につき演説を行った。そのなかで、同外相は、「より良い経済・貿易分野における関係構築を模索するメルコスールと中国の接触を再開するよう努める。議長国であるウルグアイは、就任期間中、貿易関係状況を評価し、関係を深化させる分野を特定するため、メルコスール・中国の交渉官会合を招集する」と述べた。

19日(首脳会合終了後)、ロイスガ外相は、メルコスールの中国への接近は、その前段階としてメルコスール内で結論を出すべきである旨述べた。

5 ムーディーズ格付をBa1に維持

格付会社ムーディーズは、21日に発表されたレポートにおいて、パラグアイの格付をBa1・安定とし、従来の格付を維持した。同レポートでは、持続的な経済成長、強固な財政状況、外的要因による脆弱性が限定的であること、経済的多様性につき述べられており、「経済成長を促進させている公共投資の増加及び債務の小ささのバランスは、財政強化を続ける鍵となる」と述べ、格付の裏付けとなっている基本的な要素として、堅実な公共投資支出、程よい財政赤字、債務の小ささが挙げられている。

同レポートによると、「安定」の評価は、グローバル経済情勢におけるリスクと緩やかな南米地域の景気回復、継続的な経済成長見通し、債務運営の安定性、外的要因による脆弱性が限定的であることによる。

大手格付3社(フィッチ、S&P、ムーディーズ)のなかでも、ムーディーズは、パラグアイにより高い格付を与えている(フィッチ及びS&PはBB評価)。パラグアイは、「投資段階」評価を獲得するための段階を上っている。

本23日、ヒメネス財務大臣は、パラグアイはいま正しい道を前進している旨述べ、「投資適格」の評価に至るため、財政責任のもと発展を続けなければならない旨述べた。

6 最低賃金の改定

22日、大統領令第9088号(2018年)が上下両院の承認を得られたことで、最低賃金が本年7月1日から月給2,112,562グアラニ(約377米ドル相当、日給81,252グアラニ(約14.5米ドル相当))に改定されることになった。これは現行の最低賃金から3.5%の引上げとなる。

大統領令は、最低賃金審議会(Conasam)が労働社会保障省に対して提出した報告書に基づくものである。同報告書には、パラグアイ国内の労働者の最低賃金を再調整する旨勧告している。また、法令5764号(2016年)が求める条件も含まれている。